



## BCAOアワード2017審査結果

BCAOは、事業継続（BC）に関する表彰を  
 毎年実施しています。今回は12回目となります。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及および実践に貢献した個人・団体を表彰する「BCAO アワード 2017」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは2006年度に創設され、今回が12回目の表彰となります。

5月31日(木)、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにて表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、受賞者の一部の方に内容についてご発表いただく予定です。

### 各賞受賞者一覧

#### 【事業継続部門】

	各賞受賞者	タイトル
大賞	株式会社 北岡組・なでしこBC連携	女性目線を活用したBC連携
人づくり・訓練賞・企業防災賞	イツ・コミュニケーションズ株式会社	AETE導入による事業継続向上への取組みと、業界・地域のレジリエンス力・防災力向上にむけた取組み
特別賞	静岡県BCPコンサルティング協同組合	静岡県内中小企業へのBCP策定の啓発及び策定支援
優秀実践賞	まいにち株式会社	事業継続力を強みに防災商品開発力と社会貢献力の向上

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

#### 【防災部門】

	各賞受賞者	タイトル
企業防災賞	有限会社 池ちゃん家・ドリームケア	かけがえのない命をお預かりする介護事業のBCP
	社会福祉法人 心和会(障害者支援施設 金浜療護園)	福祉施設としての地域と一体となった防災制度の枠組み作り・運用
	チーム・新宿	新宿駅周辺地域における巨大地震に対応するための、地域連携によるDroneを活用した取り組み

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

**【熊本地震「震災対応特別賞」】**

	各賞 受賞者
熊本地震「震災 対応特別賞」	株式会社 熊防メタル 様
	生活協同組合くまもと様、コープ九州事業連合様及び日本生活協同組合連合会 様

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

## 選考に当たり重視させていただいた点

### 【事業継続部門】

#### ■ 大賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
株式会社 北岡組・なでしこBC連携 殿の「女性目線を活用したBC連携」	女性が要となりBCの推進を図る企業連携に、道路啓開等の視点で行政等関係機関も加わり連携を深めたことは、大変ユニークで優れた取組である。また、「なでしこBCPパトロール」で連携企業のBCPを相互にチェックし、自社BCPに「様々な事象に対応」、「目標復旧時間内に達成」等の問題を発見し、改定して訓練も行っていることは、個社のBCMとしても高く評価できる。総合建設業の中で女性が持つ情報処理能力を災害時に現場に出る男性と補完するBCでの役割として推進していることも社会的な意義が大きい。さらに、ワークライフバランスの向上や地域の防災学習にも積極的に活動を広げている。

#### ■ 人づくり・訓練賞・企業防災賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
イツ・コミュニケーションズ株式会社 殿の「AETE導入による事業継続向上への取組みと、業界・地域のレジリエンス力・防災力向上にむけた取組み」	BCMのPDCAの実践の中で、Planの「BCP見直し」だけでなく、Doの「教育・訓練」にも力を注ぎ、「AETEサイクル」を導入して“実効的なBCP”の実現を図っている。また、「想定外のことを想定」をベースに「自ら考え臨機応変に行動する力」を必須とし、演習（エクササイズ）を重視して社員全員が受講。「BCが文化・風土として定着している企業」というゴールに向かって活動を推進している。ケーブルテレビ業界向けBCPガイド策定へ貢献、地域防災CERT訓練の推進、行政・自治会主催の防災訓練や関連イベントへの参加、防災関連サービスの提供など、業界や地域への貢献も評価される。

#### ■ 特別賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
静岡県BCPコンサルティング協同組合 殿の「静岡県内中小企業へのBCP策定の啓発及び策定支援」	平成24年から静岡県、静岡県中小企業団体中央会等との連携により静岡地域の多くの中小企業に対し、地域の専門家がBCPの普及啓発を行い、計500社以上のBCP策定等の実績を積み上げている。また、支援先の企業がBCAOアワード特別賞2016の受賞、2017年度には内閣官房レジリエンス認証を2社が取得するなどの成果を出している。中小企業・零細事業者に企業防災やBCP普及を図るために、BCP策定費用に公的専門家派遣制度等の活用を行うほか、商工会議所など静岡県下の関係機関と連携した取り組みを行っており、積極的に多くの取組の発信を行っている点も評価される。

#### ■ 優秀実践賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
まいにち株式会社 殿の「事業継続力を強みに防災商品開発力と社会貢献力の向上」	社長自らBCP第1版の抜本的見直しを進め、東京拠点の拡充による本社代替機能の向上、委託先の拡充による生産の代替性確保、代理店及び同業者との連携強化等により事業継続力の向上を図り、全員参加によるBCPの教育・訓練を繰り返し社内への周知徹底を進めたことは、BCの優秀な実践として高く評価できる。さらに、BCPと連動して業務改革を進め、営業事務の標準化、多能工化、通信システムの見直し等、企業の業務効率の向上に努めている。また、各種防災用製品の開発、災害時の支援物資としての供給、行政への供給の連携協定締結などにより、社会の防災・事業継続力の向上にも貢献している。

## 【防災部門】

### ■ 企業防災賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
有限会社 池ちゃん家・ドリームケア 殿の 「かけがえのない命をお預かりする介護事業のBCP」	かけがえのない命を預かる介護福祉事業者として、南海トラフ地震を想定し、津波浸水想定区域内の施設を廃止して本部施設を高台に新築移転した。従業員への防災教育・訓練を強化するとともに、従業員の家族の安否確認や家庭での防災教育も実施し、備蓄や非常用電源を確保するなど、災害時に入所者の安全確保に尽力されている。看護師の全国ボランティア組織の地元組織を作り、東日本大震災の発生時には、その一環として被災地に看護師を派遣するとともに、被災地での活動での知見を自らの災害対策に反映させている。さらに、これらの経験を積極的に地域で情報提供されている。
社会福祉法人 心和会 （障害者支援施設 金浜療護園）殿の 「福祉施設としての地域と一体となった防災制度の枠組み作り・運用」	東日本大震災で身体障害者の行き場がなかったことを踏まえ、青森県初の身体障害療護施設としての40年の経験・実績、経営資源を活かし、災害時に地域の福祉避難所となる県内で例のない自主的な受け皿づくりとともに、協定も青森市と締結し、地域の期待に答えている。地元の各町会、民生委員、消防団等との協議会を5年以上開催し、その議論を踏まえて防災マニュアル、災害時要援護者マニュアル等を整備し、要援護者・付添人も参加する地域と一体となった総合防災共同訓練の結果も踏まえて、点検・検証して改善を行っている。さらに、以上の取組で積み上げた災害時要援護者支援のノウハウを地域社会へ開示していることも評価できる。
チーム・新宿 殿の 「新宿駅周辺地域における巨大地震に対応するための、地域連携によるDroneを活用した取り組み」	新宿駅周辺防災対策協議会の官民が連携した長年にわたる防災・減災対策の取組の中、2016年に「新宿ルール実践のための行動指針」も策定されたが、状況把握手段、情報伝達手段が十分でない課題があった。これを解決すべく、本チームは、先端技術であるドローン及び自家通信網等を活用し、世界有数の超高層ビル街ならではの災害対応情報収集・情報発信システムの構築を目指す実証実験を繰り返している先進性は大いに注目される。ドローン運用の安全対策にも十分に配慮されたこの実験や検証が、近い将来、企業・組織が周密に立地するこの地域の都市防災力の高度化に効果を発揮するものと期待される。

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

## 【BC 推進特別賞・事例賞・熊本地震「震災対応特別賞」】

### ■ 熊本地震「震災対応特別賞」

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
株式会社 熊防メタル様	熊本地震で工場の搬送用クレーンの落下、薬剤タンクの損傷等の被害を受けた同社は、自社での復旧努力と設備会社等の復旧支援に加え、九州鍍金工業組合の相互応援体制の中で数社と連携を実施し、被害を最小限で乗りきった。また、被災を契機にグループ補助金を活用し、主力事業の拡充投資を行うという積極的な事業継続戦略も発動した。また、被災時の同業他社連携の経験を活かして、現在もお互い様外注という協力関係を続けている。
生活協同組合くまもと様、コープ九州事業連合様及び日本生活協同組合連合会様	東日本大震災において生協は被災地対応に大きく貢献したが、広域連携には教訓を残したことから、日本生協連を中心に連携体制が強化された。熊本地震の発生で生協くまもとが被害を受けたが、この体制が発動され、コープ九州が支援の中心となり、各地生協の協力も得て、店舗・宅配の暫定復旧から本格復旧までの段階に応じ、情報システムの柔軟な変更を含む技術・ノウハウを活用し、生協くまもとは被災地の支援物資ニーズ及び購買者ニーズに迅速に応えた。

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

---

BCAO アワード選考委員会では、2017年10月10日から2018年1月31日の募集期間に応募があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

■受賞

- 事業継続部門：大賞（1件）、人づくり・訓練賞・企業防災賞（1件）、特別賞（1件）、優秀実践賞（1件）、奨励賞（該当なし）
- 防災部門：企業防災賞（3件）
- BC推進事例賞（または特別賞）（熊本地震「震災対応特別賞」として2件）

■選考方法、基準等

- 事業継続部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について、
  - ・ BCの普及に向け社会的に最も影響が大きいと判断されたものを「大賞」
  - ・ 優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
  - ・ 優秀なBCPの策定・BCMの実施で範となるものを「優秀実践賞」
  - ・ BCのための人づくり、訓練の手法の紹介や実践事例で優れたものを「人づくり・訓練賞」
  - ・ 今後の取り組みに期待できるものを「奨励賞」とします。BCに関わる成果を広く知らしめることを重視するため、公表履歴の多いものをより評価しますが、実践の場合にはこの限りではありません。
- 防災部門：企業や企業を中心とする地域の防災への取組で有益なものを「企業防災賞」とします。
- 阪神・淡路大震災以降の事例で、BCの推進に顕著に寄与した事例（または人物）を「BC推進事例賞（または特別賞）」とします。自薦・他薦を問わず募集しました。なお、今回はこの賞の中で、熊本地震「震災対応特別賞」を設けました。

---

【BCAO アワード表彰式・受賞者発表 プログラム】

- ◆ 日時：2018年5月31日(木) 14:30～16:50（受付開始14:15）
- ◆ 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 小ホール  
（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号）
- ◆ 内容(予定)：
  - 14:30～14:35 「ご挨拶」  
堀越 繁明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長
  - 14:35～14:50 「選考説明・受賞者発表」  
丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 担当副理事長
  - 14:50～15:10 「賞状授与」  
堀越 繁明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長
  - 15:10～15:25 「記念撮影」
  - 15:30～16:50 「BCAO アワード 2017 受賞者発表」

問合せ先： NPO 法人事業継続推進機構 事務局 細坪（ほそつぼ）、平吾（ひらご） TEL 03-5521-2235 FAX 03-6661-9191 <a href="mailto:bc@bcao.org">bc@bcao.org</a>
---